



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 299 号

(創刊 1988.12.14)

2014.08.03.

県知事、あつせん申請を拒否

6月24日に連協加盟団体の地権者10名が神奈川県知事に提出した「あつせん申請書」に対して、7月22日付であつせんを拒否するとの回答があった。

事業者は3月6日に横浜環状南線の地権者に対して土地収用法を適用して事業認定手続きに入ったが、前号に記したようにこれは「話し合い続行中の騙し討ち」、「財産権を保障した憲法29条違反」、更に「正式の用地取得率44%を隠して80%という数字を捏造して公表する」など行政として許されないやり方であり、直ちに撤回して法に従った手続きに改めることを求めてあつせん申請をしたのである。

然るに県はこれに一切答えないまま、岩手県知事のあつせんに適しない場合についての問い合わせに対する昭和42年9月21日付建設省計画局総務課長の回答の中の「被収用者が事業自体に反対の場合」を引用し、これを根拠に地権者らのあつせん申請を拒否した。

土地収用法第十五条の二には、「土地等の取得に関する関係当事者間の合意が成立しない時は、県知事に対してあつせんを申請することができる」と定めており、関係当事者は事業に賛成、反対を問わずすべてがあつせん申請をすることができるとしており、事業に反対の者の申請は拒否できるとする建設省計画局総務課長の回答は、この法律に違反する。

県はこの法律違反の回答をあつせん拒否の根拠としただけでなく、国土交通省がホームページで社会・経済状況に応じて政策の不断の見直しを行うとした方針に反して、50年前の高度成長期のインフラ整備のための公共事業に国を挙げて取り組み、これに反対する声が殆んどなかった時代の建設省の1課長の回答を、低成長時代に入り1,000兆円の赤字を抱えて財政破綻の恐れの中で厳しい生活を強いられている国民の多くが新規の道路建設に

反対する今の時代に取り上げてあつせん申請を拒否したのは甚だしい時代錯誤であり、これは到底認めることはできず、県知事に対して8月1日付で行政不服審査請求を行った。

(法都計部)

道路全国連40周年の準備

7月27日(日)に愛知県保険医協会の会議室で今年度の幹事会がありました。

今年は運動の40周年に当たり、横浜が中心となって全国集会を主催することになっています。テーマは「道路運動40年、これから」として、本郷台のアースプラザで全国の皆様を10月11,12日にお迎えします。バスでの現地視察のあと各地から現状報告を頂き、2日目には「これからの日本」と題して中央大学米田教授の特別公演を皮切りに、「道路運動40年、これから」を6人のパネラーに議論して頂く住民参加型のシンポジウムを計画しています。

日頃、道路問題に関心を持たれている方々が大勢参加されてこの記念大会を盛り上げて頂きたくご協力をお願いします。なお別途また詳細をご案内します。(比留間)

対外活動報告

07/10 神奈川県公害審議会第17回調停

07/17 スーパー堤防差止め控訴審傍聴
(東京高裁)1名参加

07/23 神奈川県知事より「あつせん申請拒否通知書」受領

07/25 第40回道路全国交流集会に向け庄戸四町会合同道路委員会との現地実行委員会開催(庄戸コミュニティ)2名参加

07/26 水危機講演(全水道会館)1名参加

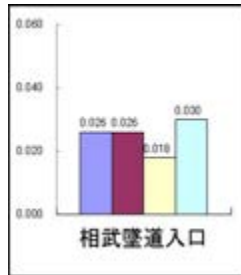
07/27 全国道路連幹事会(名古屋)会長参加

07/29 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
(横浜県民支援センター)2名参加

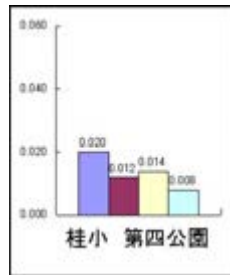
08/01 神奈川県知事の「あつせん申請拒否」に対し行政不服審査請求書提出

平成26年6月期のNO₂定点測定結果まとまる

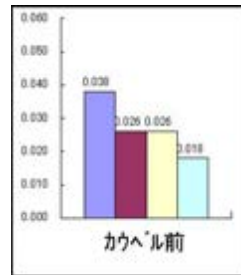
連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日に栄区内の定められた場所47箇所に 二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、定期定点観測を続けております。今回は雨時々曇りの中での測定でした。
以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。



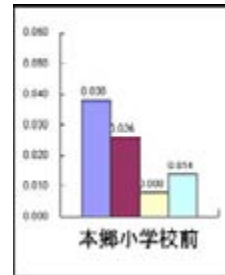
①



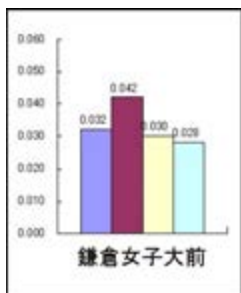
②



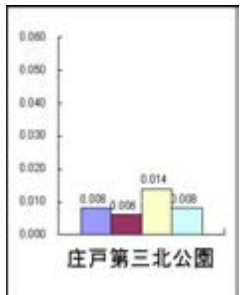
③



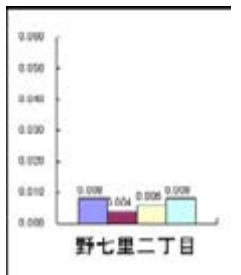
④



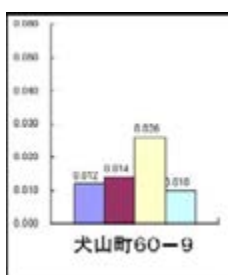
⑤



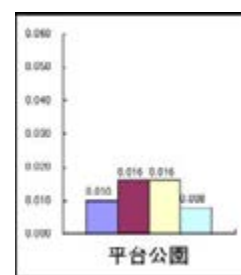
⑥



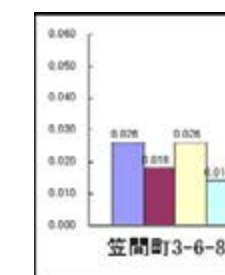
⑦



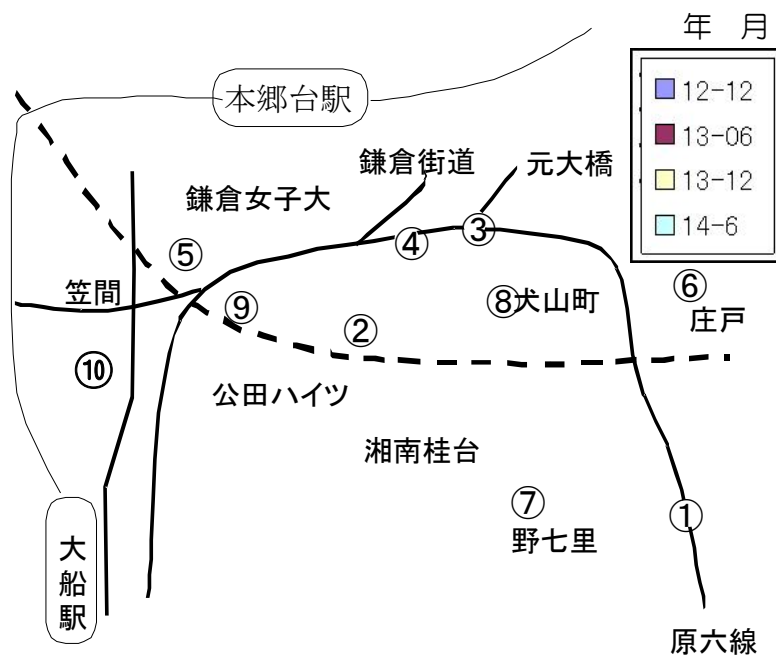
⑧



⑨



⑩



二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。

カプセルの準備(木)。カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に分けます。
測定(木⇒金)。各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後回収します。
分析(土)。カプセルに試薬を加えると、ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。
その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。